RPC-4U V02

RACK MOUNT PERSONAL COMPUTER

RPC シリーズ
ユーザーズマニュアル

（ラックマウントタイプ）

Logitec

目次

取扱い上のご注意 1
ごあいさつ 6
ご注意 6
RPC シリーズ梱包方法 7

第１章　製品のご紹介 9
１．１　製品の概要 9
１．２　各部の名称と機能 10

第２章　初めて電源を入れるまで 15
２．１　ラックへの収納 15
２．２　モニタの接続 16
２．３　キーボード、マウスの接続 17
２．４　マルチメディア機器の接続（オプション） 18
２．５　LAN との接続 19
２．６　USB 機器の接続 20
２．７　プリンタ、モデムの接続 21
２．８　UPS 装置の接続 22
２．９　電源を ON にします 23

第３章　内蔵機器の増設 25
３．１　カバーの取り外し 25
３．２　メインメモリの増設 27
３．３　拡張ボードの増設 29
３．４　ハードディスクベイの使い方 31
３．５　５インチベイへドライブを内蔵する場合 33
３．６　その他 35

必ずお読みください

取扱い上のご注意

■本製品を正しく安全に使用するために

・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
・本書は読み終わった後も、**必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。**

■表示について

・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。

⚠ 注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。

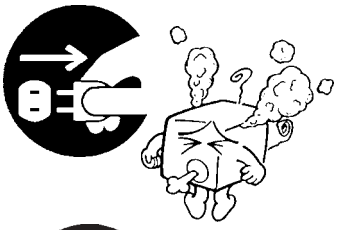
丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

⚠ 警告

●万一、異常が発生したとき。

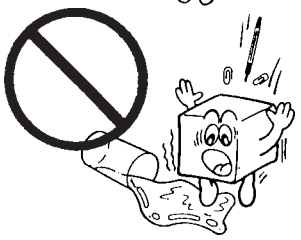
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



●異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。

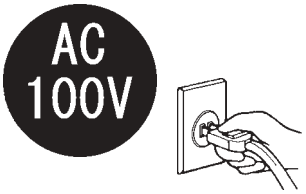


●カバーを開くときは
コンセントを抜いて。

本製品内部には感電の危険性がある場所もあります。カバーを開くときは、必ず本製品の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

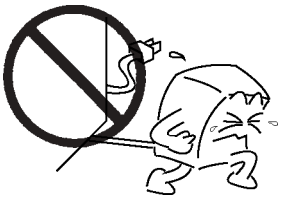
●表示された電源で
使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



●電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電／火災の原因となります。

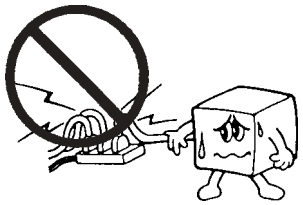


●設置・移動は２人以上で

本製品は本体重量が大きいため、設置／移動時には十分ご注意ください。本製品を開梱、移動する場合は２人以上で行なってください。

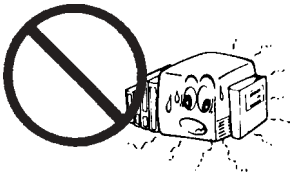
⚠ 注意

●電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。

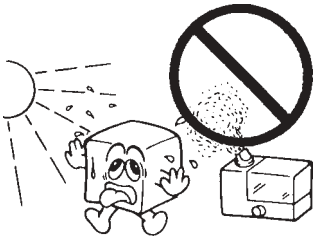


●電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。

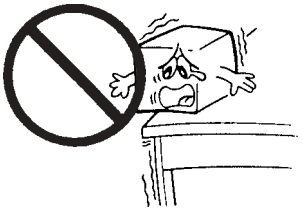
●通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。また、本製品の上に13kg以上の荷重をかけないでください。故障の原因となります。



●高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

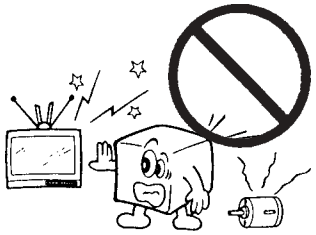


●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。



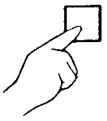
次ページに続きます

●ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

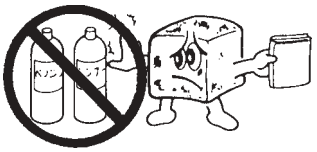


●電源スイッチを一度ＯＦＦにした時は５秒以上たってから「ＯＮ」にしてください。

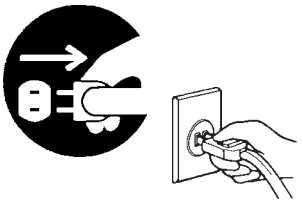
1･2･3･4･5



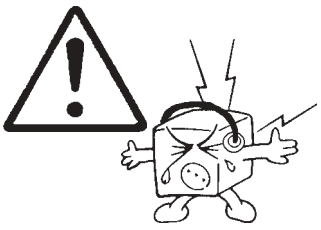
●本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



●本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



●本製品を使用して、サウンドを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。特にヘッドフォンを使用する場合は、必ず最初にヘッドフォンを耳から離した状態で音量を確認してください。



パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンには記憶装置としてハードディスクドライブが搭載されており、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

「データを消去する」という場合、一般に

- ◆ データを「ゴミ箱」に捨てる
- ◆ 「削除」操作を行う
- ◆ 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ◆ ソフトで初期化（フォーマット）する

などの作業を行います。

しかし、一見消去されたように見えますが、Windows®などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、特殊なソフトウェアなどを使用することにより消去したはずのデータが再生されることがあります。

このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

パソコンユーザが、廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザの責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（ＯＳ、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

ごあいさつ

この度は弊社パーソナルコンピュータをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書はパーソナルコンピュータに関する設定／接続方法、機能／仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

ご注意

①本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

②本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

③本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、②項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

④本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

⑤本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

⑥本製品を使用して収納したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

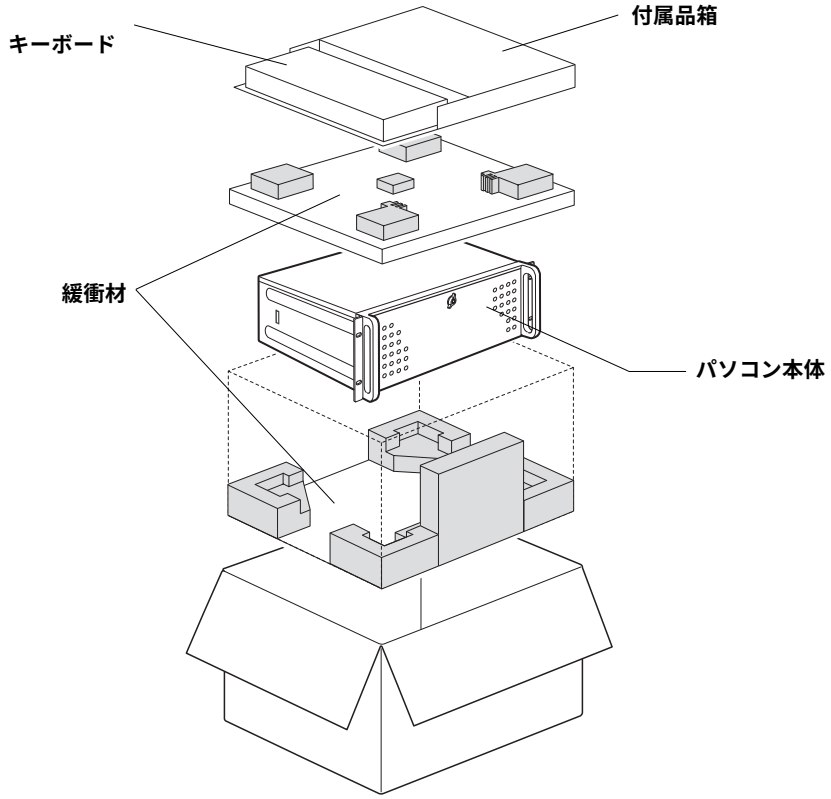
⑦弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

⑧本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

⑨本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

＊Windows は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。

RPC シリーズ梱包方法



BTO 仕様について

本製品はカスタマイズに対応したBTO（Build to Order）仕様の製品です。そのため、実際の製品構成が本マニュアルの記載内容と異なる場合があります。著しく異なる場合は、巻末の仕様一覧表に補足説明として記載させていただきますのでそちらをご参照ください。

Memo

第１章　製品のご紹介

１．１　製品の概要

本製品はラックマウントタイプの32ビットパーソナルコンピュータです。

■本製品の特徴

①業務用に最適な19型ラック装着用PCです。

②サウンド機能、ビデオアクセラレーション機能などのマルチメディア機能をサポートしています。（サウンド機能は搭載機種のみ）

③サーバ環境を考慮した300W長寿命電源を装着しています。

④フロントカバーにカギがついていますので、長時間運用時の誤操作防止に役立ちます。

⑤基本モデルにはマイクロソフト株式会社製のOSをプレインストールしています。

ご注意

・本製品はカスタマイズに対応したBTO仕様のため、OSやドライバのインストールはお客様ご自身でインストールする必要があります。

・オプションによりOSがプレインストールされている場合、本製品の基本的な機能を使用するためのアプリケーションやドライバがハードディスク内にプレインストールされている場合があります。
この場合、本製品付属のCD-ROM等には、それ以外のソフトウェアが保存されていることがありますが、多くの場合、これらのソフトウェアは本製品以外の環境で使用するためのものです。そのため、プレインストールされていないソフトウェアに関しては保証範囲外とさせていただきますので、あしからずご了承ください。

１．２　各部の名称と機能

本製品前面

①フロントカバーキー

このキーで本製品前面にカギをかけることができます。長時間運用時の誤操作防止に役立ちます。

②電源スイッチ

パソコン本体の電源をON／OFFするスイッチです。本製品のスイッチは２段階式になっているので、電源ON／OFF時にはこのスイッチをしっかりと奥まで押してください。

③リセットスイッチ

パソコンがフリーズ状態（キーボードやマウスの操作をまったく受け付けない状態）になった場合や、システム終了後再起動が必要になった場合に使用するボタンです。

④CD-ROMドライブ

CD-ROMディスクをセットする部分です。オプションによりこの部分にはCD-R/RW、DVD-ROMとなる場合もあります。

⑤エアフィルタカバー

裏側にセットされている冷却ファンへのホコリの進入を防ぐためのエアフィルタが収納されています。フィルタは定期的に清掃してください。（「３．６　その他」参照）

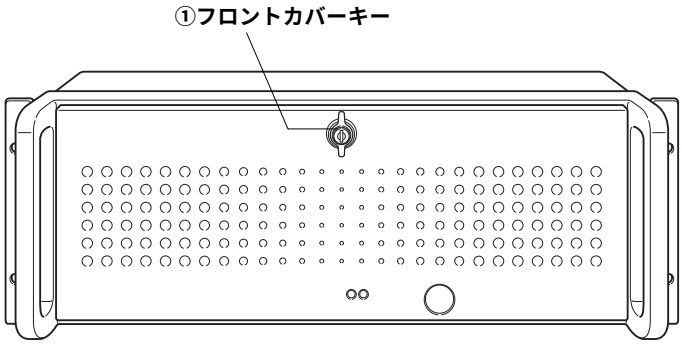
⑥フロッピーディスクドライブ

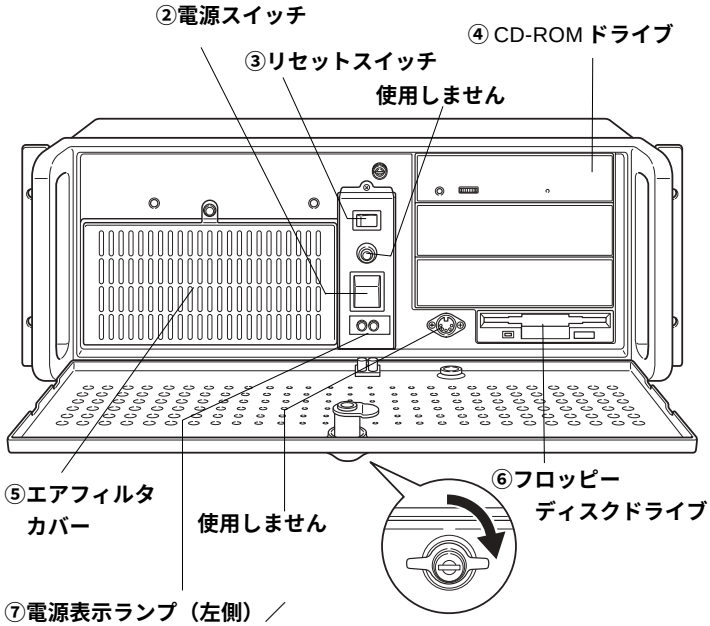
3.5インチフロッピーディスクをセットする部分です。

⑦電源表示ランプ（左側）/HDDアクセス表示ランプ（右側）

電源表示ランプはパソコン本体の電源がONになっているときに点灯します。

HDDアクセス表示ランプはパソコン本体に内蔵されているハードディスクに対して、読み書きのアクセスが行われているときに点灯します。


①フロントカバーキー


②電源スイッチ
④ CD-ROM ドライブ
③リセットスイッチ
使用しません
⑤エアフィルタ
カバー
使用しません
⑥フロッピー
ディスクドライブ
⑦電源表示ランプ（左側）／
HDD アクセス表示ランプ（右側）

本製品背面

①電源コネクタ

付属の電源コードでAC100Vのコンセントに接続します。

②メイン電源スイッチ

本製品に対するAC100Vの入力をON／OFFにするスイッチです。このスイッチがONになっていないと、前面の電源スイッチを押しても、本背品の電源はONになりません。通常はONのままで使用しますが、本製品のカバーを開く場合は、感電防止のため、必ずOFFにして下さい。

③マウスコネクタ

本製品付属のマウスを接続するコネクタです。

④キーボードコネクタ

本製品付属のキーボードを接続するコネクタです。

⑤LANコネクタ

別売のUTPケーブルで10BASE-T／100BASE-TXのイーサネットハブに接続するコネクタです。
製品の仕様によっては拡張スロット側となります。

⑥USBコネクタ（×2）

USB（Universal Serial Bus）機器を接続するコネクタです。

⑦プリンタコネクタ

セントロニクス規格のプリンタを接続するコネクタです。

⑧RS-232Cコネクタ

外付けモデムやUPS（無停電電源）装置などのRS-232C機器を接続するコネクタです。

⑨モニタコネクタ

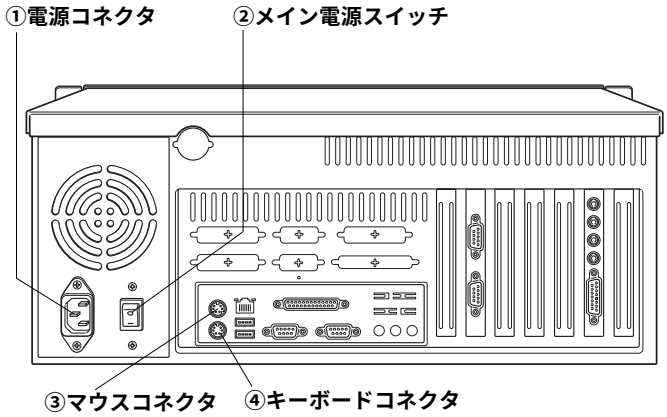
モニタを接続するコネクタです。仕様によりモニタコネクタが1つのものと2つのものがあります。
モニタコネクタが2つの場合はマルチモニタに対応しています。右図の上側が一台目のモニタに対応、下側のコネクタがセカンドモニタまたはクローンモニタに対応します。

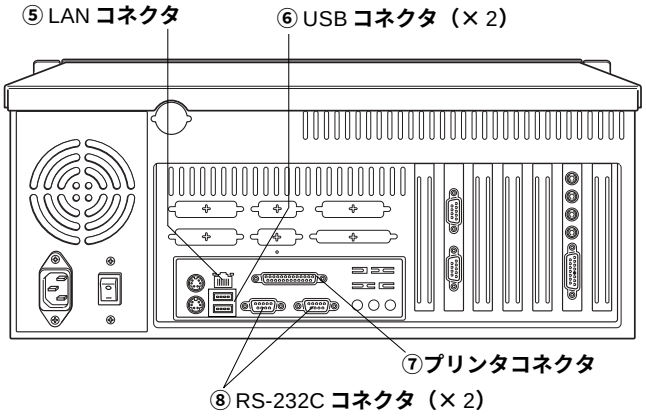
⑩サウンドボード（オプション）

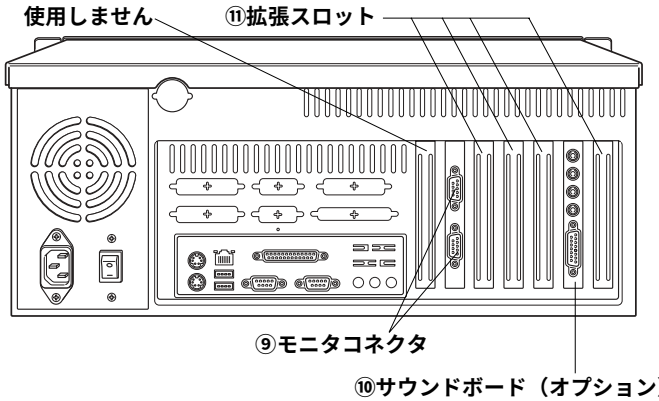
オプションによりここにサウンドボードが付く場合があります。サウンドボードの機能については「2．4　マルチメディア機器の接続」をご参照ください。

⑪拡張スロット

拡張カードを増設するときに使用します。詳細は「3．3　拡張ボードの増設」をご参照ください。


①電源コネクタ
②メイン電源スイッチ
③マウスコネクタ
④キーボードコネクタ


⑤ LAN コネクタ
⑥ USB コネクタ（× 2）
⑦プリンタコネクタ
⑧ RS-232C コネクタ（× 2）


使用しません
⑪拡張スロット
⑨モニタコネクタ
⑩サウンドボード（オプション）

Memo

1

第２章　初めて電源を入れるまで

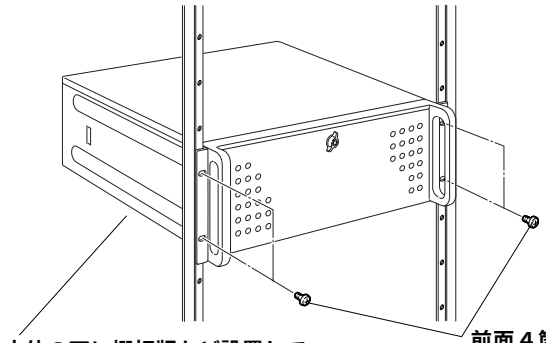
本章では本製品の設置から、パソコン本体に各種機器を接続する方法、パソコン本体の電源を ON にして、OS のセットアップを開始するまでの手順を説明します。

２．１　ラックへの収納

ご注意

本製品を設置する際は、電源の可用性やほこりや温度、湿度などの環境が適切であるかどうかご確認ください。

本製品を 19 型ラックに取り付ける際は棚板等を本製品の下に設置し、下図のように付属のネジを使用して本製品前面を固定しラックに取り付けてください。この際、しっかりとネジ止めをして本製品がラックから外れないよう十分に確認してください。



本体の下に棚板版など設置して安定させてください

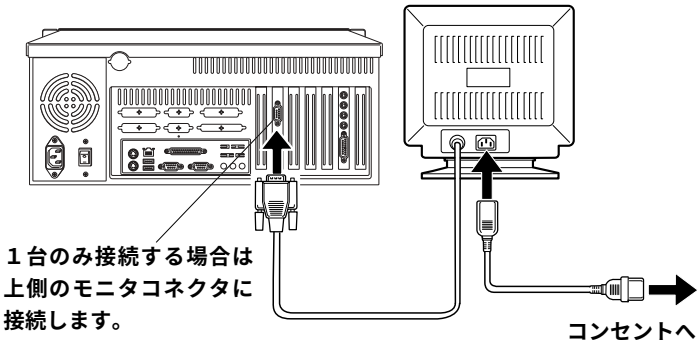
前面４箇所を付属のネジで固定します。

重要なご注意

- **19 型ラックに、本製品を含むラックマウントタイプの機器を取り付ける際には、下から重い順に間を空けずに取り付けるか、ラック付属の支え金具等を使用してください。**
- **同様に、取り付けの際には、ご使用のラックの据付・設置条件をお守りください。**
- **ラック内部の温度が機器動作時の環境条件を超えないようご注意ください。**

２．２　モニタの接続

本製品に直接モニタを接続する場合は、上側のモニタコネクタに市販のモニタを接続します。接続に使用するケーブルは、モニタに添付されたものをご使用ください。もし、モニタにケーブルが添付されていない場合は、モニタの取扱説明書をご参照の上、適切なDOS/Vパソコン用接続ケーブルを別途ご用意ください。(オプションにより２台目のモニタが接続可能場場合は、２台目のモニタの接続は下側のモニタコネクタを使用します。詳細はビデオボードのマニュアルをご参照ください。)

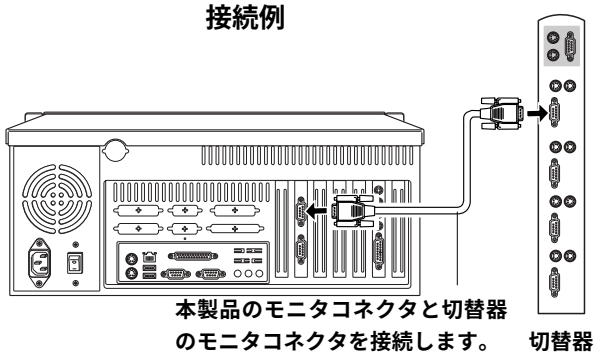


ご注意

本製品の上にモニタなどを直接乗せないでください。

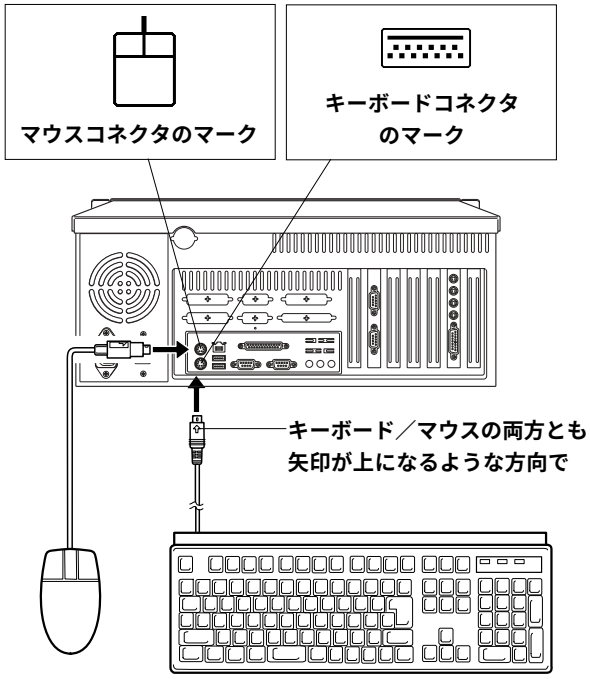
複数のサーバなどとの混在環境で使用する場合は、CRT/キーボード切替器へ、切替器に合ったケーブルを使用して接続してください。ケーブルの種類は切替器により異なりますので、ご使用の切替器の取扱説明書をご参照ください。

接続例



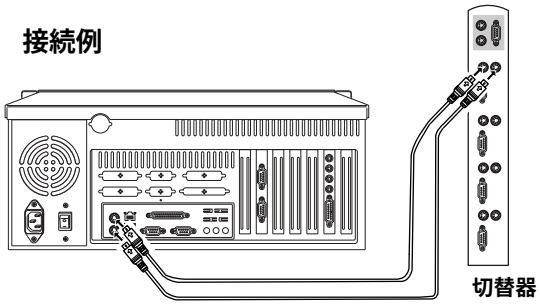
２．３　キーボード、マウスの接続

本製品を単体で使用する場合は、本製品付属のキーボード、マウスを背面のキーボードコネクタ、マウスコネクタに接続します。この２つのコネクタは同じ形状をしていますので、コネクタに付けられたマークをよく見て、間違えないように注意してください。



複数のサーバなどとの混在環境で使用する場合は、CRT/ キーボード切替器へ、市販のケーブルを使用して接続してください。ケーブルの種類は切替器により異なりますので、ご使用の切替器の取扱説明書をご参照ください。

接続例

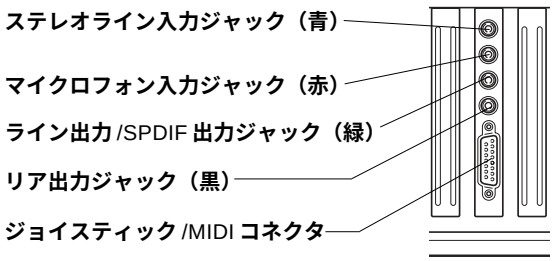


マウスコネクタとキーボードコネクタのマークを間違えないように接続してください。

２．４　マルチメディア機器の接続（オプション）

オプションでサウンドボードが付いている場合、各コネクタには以下のような機能があります。各機能の詳しくはサウンドボードのマニュアルをご参照ください。

本製品背面のサウンドコネクタ



ステレオライン入力ジャック（青）

再生や録音用の外付け機器（カセット、DAT、ミニディスクプレイヤー等）を接続します。ただしステレオでサウンドを録音するためには、ステレオ対応のユーティリティソフトウェアが必要です。

マイクロフォン入力ジャック（赤）

音声入力用の外付けマイクを接続します。

ライン出力/SPDIF 出力ジャック（緑）

ヘッドフォン、アンプ付スピーカー、FourPointSurround スピーカー、外付けアンプを接続します。SPDIF出力は、モノラル3.5mmミニジャック（市販品）から得られます。

リア出力ジャック（黒）

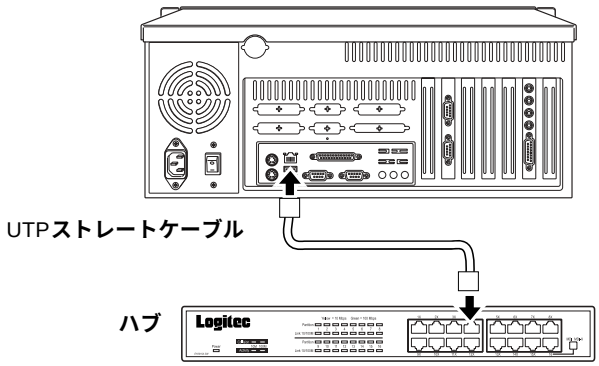
電源付オーディオ出力スピーカーを接続します。

ジョイスティック/MIDI コネクタ

ジョイスティック、又は MIDI 機器を接続します。市販のジョイスティック /MIDI ケーブルにより、ジョイスティックと MIDI デバイスを同時に接続することができます。

２．５　LAN との接続

本製品をイーサネットLANに接続したい場合は、別売のUTPストレートケーブルで、本製品のLANコネクタを10BASE-T／100BASE-TXのハブに接続してください。10BASE-Tのハブに接続する場合はカテゴリ３／カテゴリ５のケーブルを、100BASE-TXのハブに接続する場合はカテゴリ５のケーブルをご使用ください。（回線速度は接続先のハブの仕様にしたがって自動認識されます。）



UTPストレートケーブル			
カテゴリ３		カテゴリ５	
型　番	ケーブル長	型　番	ケーブル長
CB-LT3-003	3.0m	CB-LT5-003	3.0m
CB-LT3-005	5.0m	CB-LT5-005	5.0m
CB-LT3-010	10.0m	CB-LT5-010	10.0m
CB-LT3-020	20.0m	CB-LT5-015	15.0m
CB-LT3-030	30.0m	CB-LT5-020	20.0m
CB-LT3-040	40.0m	CB-LT5-030	30.0m
CB-LT3-050	50.0m	CB-LT5-040	40.0m
		CB-LT5-050	50.0m

ご注意

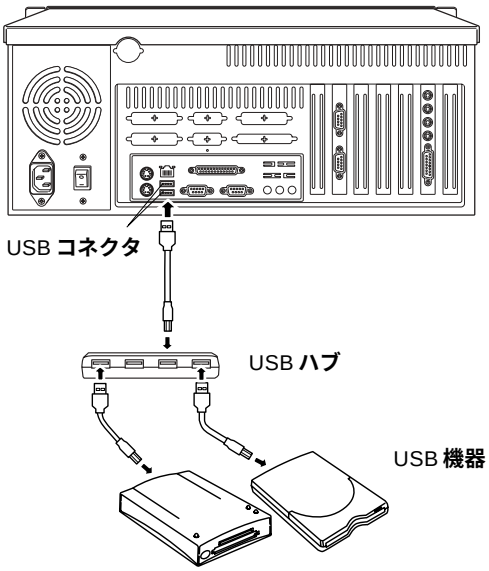
何かの理由でケーブルを外す場合は、マイナスドライバなどでモジュラージャックのロックを外しながら、静かに引き抜いてください。

２．６　USB 機器の接続

USB に対応した機器（ジョイスティックやモデムなど）を接続する場合は、本製品背面の USB コネクタに接続します。接続に使用するケーブルは、USB 機器に付属のものをご使用ください。

また、ここに USB ハブを接続すると、より多くの USB 機器を接続できるようになります。最大５段までカスケード接続を行って、最大127台の USB 機器を接続することができます。詳細は USB ハブのマニュアルをご参照ください。

USB機器はホットプラグ機能があるため、パソコン本体の電源がONになっている状態でコネクタの抜き差しを行ってもかまいません。



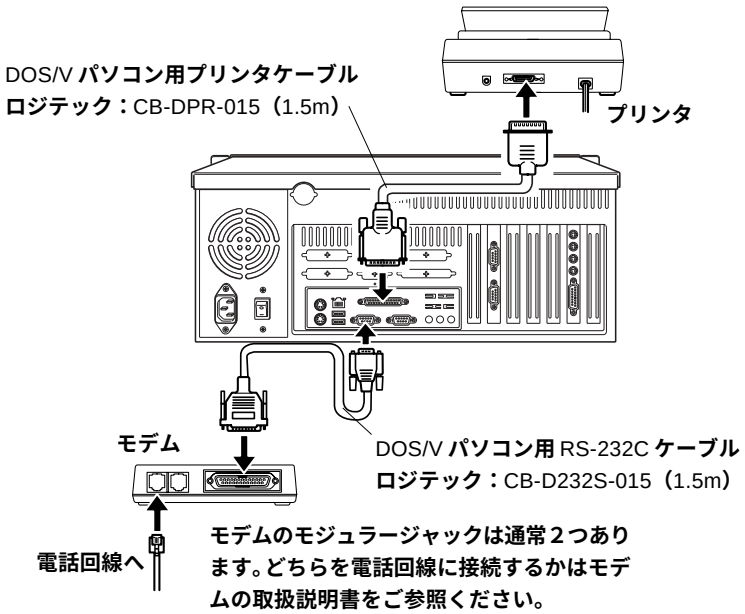
ご注意

USB ケーブルはパソコン側（アップストリーム側）と USB 機器側（ダウンストリーム側）で異なるコネクタを使用しています。正しい形状のコネクタに接続してください。

２．７　プリンタ、モデムの接続

プリンタを接続する場合は､本製品背面のプリンタコネクタに接続してください｡接続に使用するケーブルは、プリンタ付属のもの、もしくは市販の DOS/V パソコン用プリンタケーブルを別途ご用意ください。

モデムを接続する場合は、本製品背面の RS-232C コネクタに接続してください。本製品背面には RS-232C コネクタが 2 つありますがどちらを使用しても構いません。接続に使用するケーブルは、モデム付属のもの、もしくは市販の DOS/V パソコン用 RS-232C ケーブルを別途ご用意ください。市販の RS-232C ケーブルには、9 ピンのものと 25 ピンのものがありますが、本製品の RS-232C コネクタは 9 ピンです。



Point　ポイント

USB **接続のモデムやプリンタをご使用の場合は、「２．６　USB 機器の接続」に従ってください。**

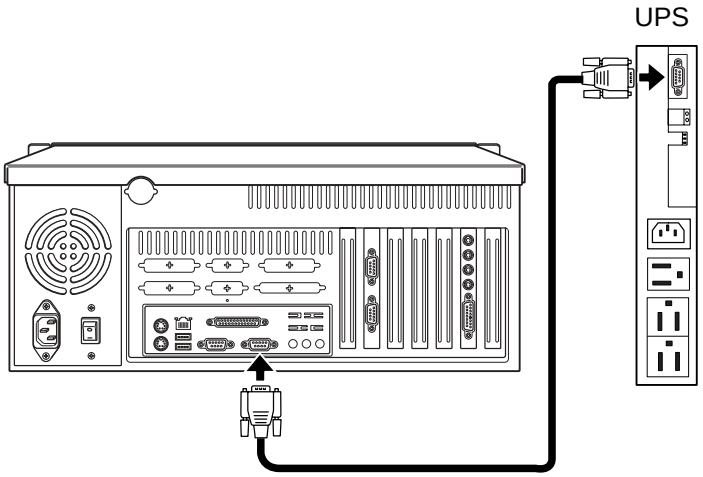
２．８　UPS 装置の接続

無停電電源装置は、停電（瞬停や長時間の停電）や落雷などから機器を保護するために設置します。これを設置することにより、停電時に一般の商用電源から UPS 装置の持つバッテリーに切り替えて機器本体の電源が突然落ちることを防ぐことができます。

本製品に UPS 装置を接続する場合は以下のように UPS の設定を行うことを推奨します。

1. 瞬停時は、UPS のバッテリで継続運転する。
2. UPS 設定時間以上の低電時は、作業中のファイルを保存し、本製品を正常終了し、電源の復帰後に自動的に再起動する。

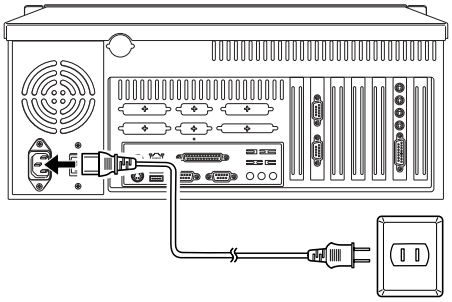
詳しい使用方法につきましてはご使用の UPS 装置の取扱説明書をご参照ください。



DOS/V **パソコン用** RS-232C **ケーブル**
ロジテック：CB-D232S-015（1.5m）

２．９　電源を ON にします

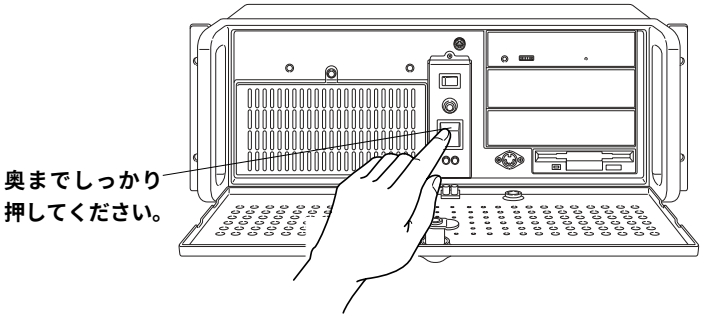
ここまでの外部機器の接続が終了したら、最後に本製品の電源コネクタを AC100V のコンセントに接続します。接続には本製品付属の電源コードを使用します。



ご使用になる OS の CD-ROM を本製品の CD-ROM ドライブにセットして、パソコンの電源を ON にします。パソコンの電源は背面のメイン電源スイッチを ON にしたあとに前面の電源スイッチを ON にして下さい。
※前面の電源スイッチは二段階式ですので、奥までしっかり押し込んでください。

電源は必ず以下の順序で ON にしてください。

１．モニタ
（切替器に接続している場合は本製品を選択しておいてください）
↓
２．パソコン本体
↓
３．プリンタ、モデム、アンプ内蔵スピーカ



Point　ポイント

・プリンタ、モデム、アンプ内蔵スピーカは、通常の使用時はシステム起動完了後に電源を ON にしてもかまいません。

・OS をセットアップする際に、プリンタやモデムなどがつながれていると各機器の検出が行われる場合があります。これらの機器を接続している場合は、セットアップの前に必ず電源を ON にしておいてください。

・パソコンの電源を OFF にする際は、正しい手続きで OS を終了しなければなりません。（OS を終了する手続きについては、OS のマニュアルをご参照ください。）これを守っていれば、パソコン本体、モニタ、周辺機器はどのような順番で電源を OFF にしてもかまいません。

接続に問題がない場合、パソコンの電源をONにすると、以下のような流れでシステムが起動し、OS のセットアップが開始されます。

①電源表示ランプが点灯します。

②ピッというサウンドが聞こえます。

③モニタにシステム起動の画面が表示されます。

④ OS のセットアップが開始されます。

セットアップが開始されない場合、パソコンの BIOS の設定で Boot Device に CD-ROM ドライブが選択されているか確認してみてください。詳しくはマザーボードのマニュアルをご参照ください。

どうしてもパソコンが起動できない場合には、本書の最終ページ「お問い合わせについて」を参照し、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

第３章　内蔵機器の増設

本章ではパソコン本体のカバーを開いて、内部に増設する機器の接続方法を説明します。

本製品を 19 型ラックに設置して使用する場合、増設を行う際には、必ず本製品をラックから下ろして作業台等の安定した場所で作業を行ってください。また、ラックの取付け・取り外し作業は、必ず２人以上で周囲の安全を確保した上で行ってください。特に高い場所に設置した場合などは転落・落下などには十分に注意してください。

増設可能な機器には以下のようなものがあります。

1．メインメモリ
2．PCI バス拡張ボード
3．ISA バス拡張ボード（オプション）
4．3.5 インチベイに内蔵可能なハードディスク
5．５インチベイに内蔵可能なドライブ

これ以外の増設等（例えば CPU の交換など）については、弊社での保証範囲外とさせていただきます。

３．１　カバーの取り外し

パソコン本体のカバーの取り外しは、以下注意事項をお守りの上、次ページより説明する手順で行ってください。

重要なご注意

- **本製品内部には感電の危険性がある場所もあります。カバーを外す場合は、必ず本製品の電源を OFF にして、電源コードをコンセントから外してください。**

感電注意

- **本製品内部には、場所によっては端面処理されていない個所があります。作業の際には手などを切らないように十分ご注意ください。**

切傷注意

- **電源 OFF 直後のパソコン本体内部には、高温の部分（CPU のヒートシンクなど）があります。火傷をしないように十分ご注意ください。**

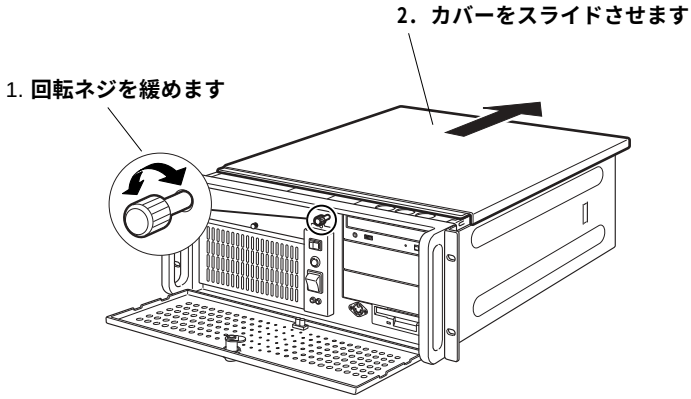
高温注意

３．１　カバーの取り外し

①パソコン本体の電源を OFF にして、電源コードをコンセントから抜きます。

②ラックに搭載している場合は２人以上で安全を確認してラックより取外し、作業台などへ移動させます。

③本製品前面の回転ネジを緩め、カバーを背面側にスライドして外してください。



ご注意

シャーシで手を切らないように十分ご注意ください。

カバーを取り付ける場合は、上記と逆の手順でカバーをパソコン本体に装着し回転ネジで固定させてください。

３．２　メインメモリの増設

「メインメモリ」はパソコン本体のCPUがデータの一時保管場所として使用するメモリです。プログラムやデータはすべてメインメモリに読み込まれてから処理されます。そのためメインメモリはパソコンにとって非常に重要な要素です。

多くのソフトウェアを同時に起動したり、フルカラーの大きな画像を表示すると、メインメモリの不足からディスクスワップ（メインメモリ上のデータをハードディスクに書き出して、空きメモリを作る処理）が発生して、パフォーマンスが低下します。

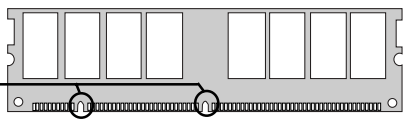
もし、パソコン本体を使用していて、特にデータの保存や読み込みを行っていないのに頻繁にハードディスクをアクセスするようでしたら、メインメモリの不足からディスクスワップが発生している可能性があります。このような場合には、メインメモリの増設が必要です。

ご注意

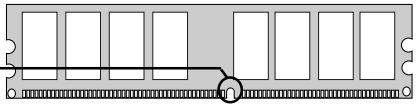
・使用させるメモリは弊社純正のものをご使用ください。

※一般に使用されているメモリには主に以下の３種類があります。メモリにより増設の方法が異なります。また、マザーボードが対応していないメモリを使用することはできませんので、ご使用のマザーボードのマニュアル、もしくは本製品のハードウェア仕様書をご確認の上、規格に合ったメモリをご使用ください。

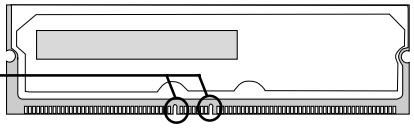
SDRAM



DDR-SDRAM

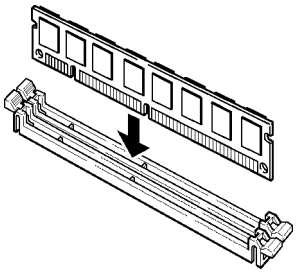


Rambus-DRAM



メモリモジュールは本製品のマザーボードのメモリソケットに取り付けます。（下図は接続方法のみを示しています。メモリソケットの位置やソケット数・タイプは機種によって異なりますので、別冊のマザーボードのマニュアルをご参照ください。）

メモリモジュールを取り付けるメモリソケットを決めたら、メモリモジュールの方向を確認して、真上から差し込んでください。

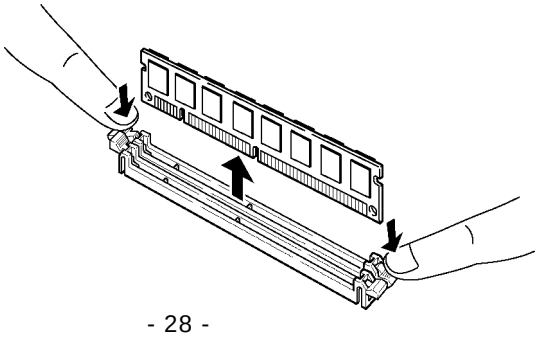


ご注意

・メモリモジュールは静電気に弱い特性を持っています。メモリモジュールに触れる前にパソコン本体の金属部分に触れて、体内の静電気を逃がしておいてください。

・メモリモジュールは正しい方向でしか接続できない形状になっています。ソケットに差し込みにくい場合は、無理に力を加えないで逆の方向を試してみてください。（ただし、初めてメモリモジュールを挿入するソケットは、かなりきつい場合もあります。）

メモリモジュールを取り外したい場合は、両端のレバーを開くように押してください。メモリモジュールが浮き上がりますので、静かに外してください。



３．３　拡張ボードの増設

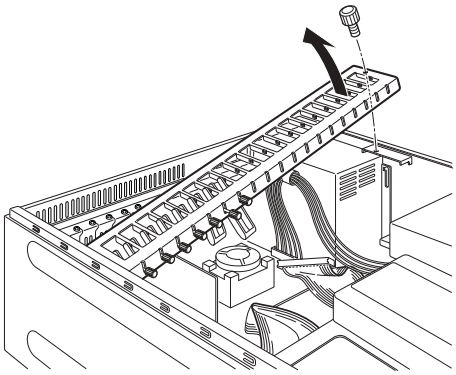
本製品にはPCIバス（Rev 2.2準拠）の拡張スロットが用意され、PCIバス対応の拡張ボード（SCSIボードなど）を増設することができます。

PCIバス対応の拡張ボードを増設したい場合は、以下の手順に従ってください。

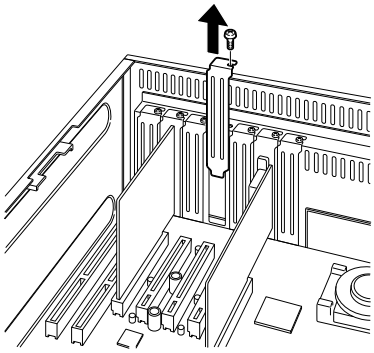
参考

オプションによりISAバス拡張スロットが用意されている場合があります。この場合の増設方法もPCIバス拡張ボードと同様です。マザーボードのマニュアルを参照し、スロットの位置を確認して、以下の手順で作業を行ってください。

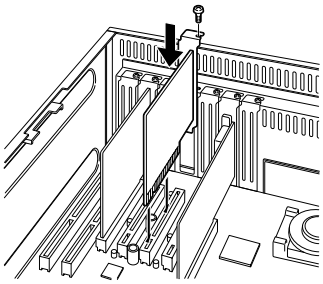
①拡張ボードの上にあるボード押さえレールを、下図のようにネジを外して取外します。



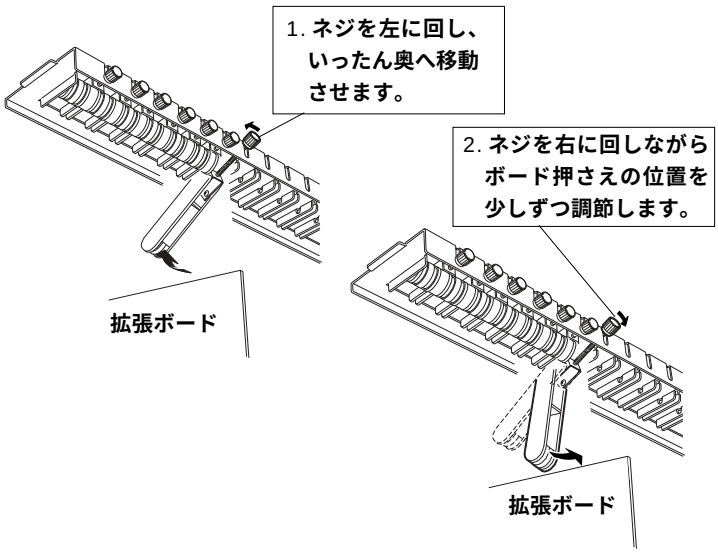
②拡張スロットからネジとスロットカバー（下図の金具）を取り外します。



③PCIバス対応の拡張ボードをスロットにセットします。しっかりと奥まで差し込んで、②で外したネジで拡張ボードを固定してください。



④ボードの高さに応じてボード押さえの角度を調節します。ボード押さえのネジを一度左に回して奥まで移動させた後、ボード押さえレールを取付け、右に回しながら少しずつ手前へ調節します。
この時きつく閉めすぎるとボードが破損する原因ともなりますのでご注意ください。



以上で増設は終了です。パソコン本体のカバーを元に戻してください。あとはパソコン本体の電源を ON にして、システムを起動し、拡張ボードのドライバの組み込みなどを行います。

参考

弊社からは様々なタイプの拡張ボードが発売されています。内容については、インターネット上の弊社ホームページ（http://www.logitec.co.jp/**）で参照することができます。**

３．４　ハードディスクベイの使い方

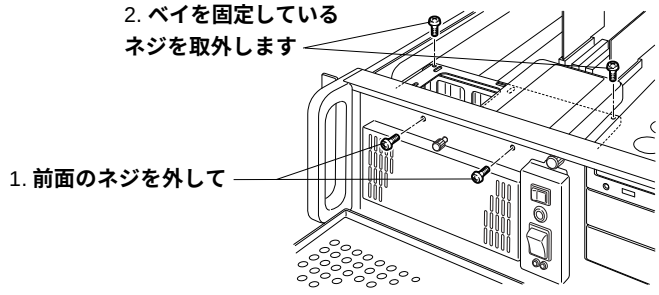
ハードディスクベイを使用して、3.5型ハードディスクを増設または交換する場合は、以下の手順でに従ってください。

①「３．１　カバーの取り外し」の手順に従って本製品のカバーを外します。

ご注意

ドライブにはそれぞれ個々の設定があります。（例えばエンハンスド IDE 接続のドライブの場合はマスタ／スレーブの設定、SCSI 接続のドライブの場合は ID ナンバーの設定とターミネータの設定など）接続を行う前にドライブの取扱説明書を参照して必要な設定を行ってください。

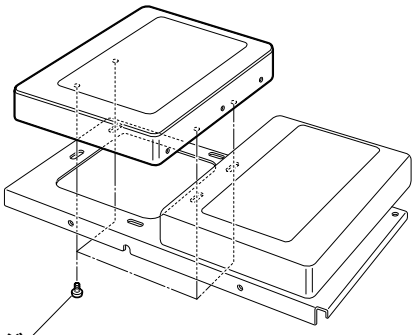
②下図を参照して、本製品の前面左上にあるハードディスクベイを固定している２つのネジを外し、次いで内部でベイを固定している２つのネジを外します。
（このとき、あらかじめ本製品に内蔵されているハードディスクに接続されたフラットケーブル、電源ケーブルを取外しておくと取付けが容易になります。）



ご注意

ケーブル類を取外した場合は後で再接続します。内部電源ケーブルは接続可能な形状であればどれを使用してもかまいませんが、フラットケーブルは取外したコネクタを取外した方向で再接続しなければなりません。使用するコネクタと方向を間違えないように絶縁体テープなどを貼ってマークしておくようお勧めします。

③ベイを取り出し、新しいハードディスクを下図のように付属のネジで取付けます。



④取り付けが終わったら手順 ②で取外したネジで再度ベイを固定し、フラットケーブル、内部電源ケーブルをそれぞれに接続します。
このとき、ハードディスク側の設定とフラットケーブルの接続順序に気をつけてください。

Point　ポイント

本背品の内蔵ハードディスクは出荷時にマスタの設定でプライマリE-IDE**コネクタと接続されています。**

⑤全ての作業が終わったらカバーを取り付けてください。以上で作業は終了です。

３．５　５インチベイへドライブを内蔵する場合

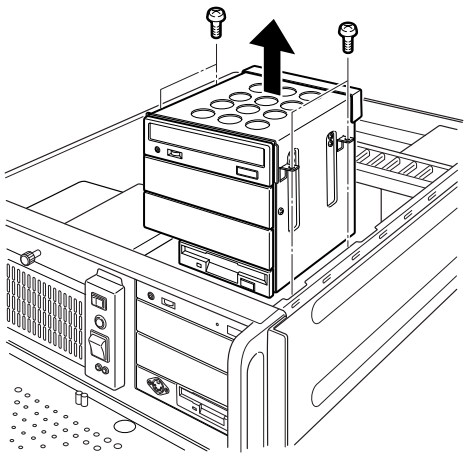
本製品の５インチベイにドライブを内蔵したい場合は、以下の手順に従ってください。５インチベイにはMOドライブ、CD-R/RWドライブ、ハードディスクドライブなどを内蔵することができます。

①「３．１　カバーの取り外し」の手順に従って本製品のカバーを外します。

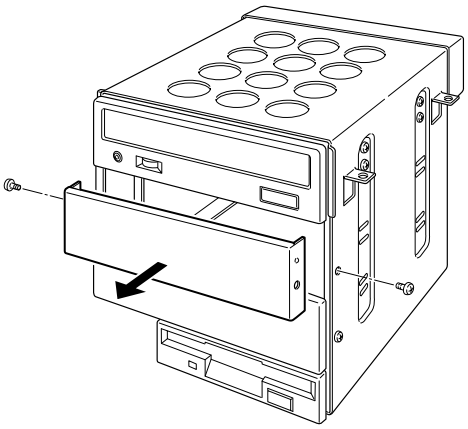
ご注意

ドライブにはそれぞれ個々の設定があります。（例えばエンハンスドIDE接続のドライブの場合はマスタ／スレーブの設定、SCSI接続のドライブの場合はIDナンバーの設定とターミネータの設定など）接続を行う前にドライブの取扱説明書を参照して必要な設定を行ってください。

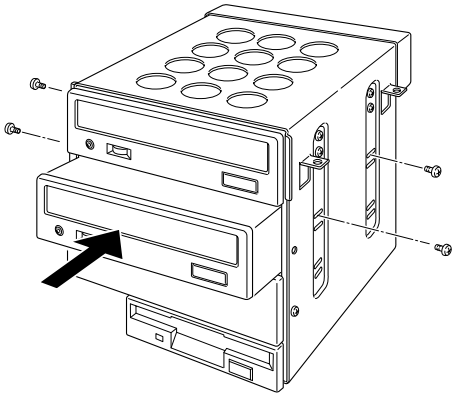
②あらかじめ５インチベイ上部の付属CD-ROMドライブ背面に接続されているケーブル類を外しておき、下図のように５インチベイを固定している４箇所のネジを取外してから、ドライブを少し（1～2cm）背面側にずらしてから垂直方向に持ち上げ本体内部より一度取り出します。



④次にフロントパネルを取外します。ベイ側面前方にある２ヶ所のネジを外し⇒方向に押すしてフロントパネルを取外してください。（ハードディスクを接続する場合はこの作業はいりません。



⑤ドライブを５インチベイに挿入し、両側からネジで固定します。



⑥５インチベイの内部でドライブに内部電源ケーブルとフラットケーブルを接続します。フラットケーブルの接続はエンハンスド IDE 接続か SCSI 接続かにより異なりますので、ドライブの取扱説明書をご参照ください。

参考

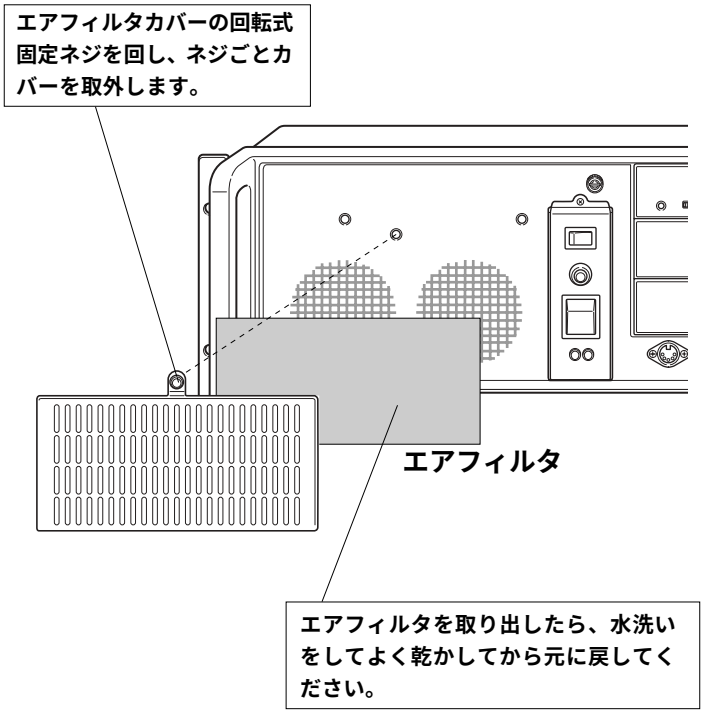
本製品にあらかじめ内蔵されているCD-ROM**ドライブは出荷時にマスタの設定でセカンダリ** E-IDE **コネクタに接続されています。**

⑦全ての作業が終わったらカバーを取り付けてください。以上で作業は終了です。

３．６　その他

■エアフィルタの清掃

本製品前面のエアフィルタカバー裏側には2基の冷却ファンが設置されています。このファンは内部を冷却し熱による機器の誤作動を防ぐ上で非常に大切な役割を果たしています。エアフィルタは、この冷却ファンより空気中の塵や埃が内部に侵入するのを防ぐために設置されておりますので、定期的に清掃を行ってください。



保証書とサービスについて

本製品には、保証書が添付されています。

○保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

○保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

○修理品については、下記の弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。(故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。)

〒396-0192　長野県伊那市美すず六道原8268
ロジテック（株）伊那サービスセンター（３番受入窓口）

○保証期間経過後の修理については、有償修理となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますのであらかじめご了承ください。なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後５年間です。

○サービスをご依頼される場合には、以下の事項をできるだけ書面にてお買い上げの販売店にお伝えください。

①お名前、住所、電話番号
②保証書に記載された機種名、シリアルNo.
③故障の状態、接続構成、使用ソフトウェア（なるべく詳しく）

お問い合わせについて

弊社ではお客様からのお問い合わせの窓口を用意しています。製品に対する技術的なご質問、取扱説明書に対する質問等は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。お手紙によりお問い合わせする場合は、上記 ①～③の内容をご記入ください。特にご連絡先の電話番号は必ずご記入ください。

ご注意：　電子メールによるサポートは行っておりません。文書でお問い合わせをいただく場合には、必ず電話番号／FAX番号をご記入ください。

※お問い合わせ先

〒396-0192　　長野県伊那市美すず六道原８２６８
ロジテック株式会社　テクニカルサポート

TEL.　03-5326-3667**（東京）**

※祝祭日を除く月～金曜日　9:30～12:00、13:00～17:00

※間違い電話が多くなっております。お問い合わせの際は番号をよく確認して、上記の番号へおかけください。

上記電話番号では「コールバック方式」を取らせていただいています。ご用件を伺ってから、担当のものが折り返しお電話いたします。

Logitec　LPCシリーズ・ユーザーズマニュアル（ラックマウントタイプ）

２００３年　１１月改訂　　RPC-4U V02
製造元：ロジテック株式会社
本　社：〒111-0043　東京都台東区駒形１－１２－１４　日本生命浅草ビル

古紙配合率100%再生紙を使用しています

66154501